

津南病院地域研修感想文

東京慈恵会医科大学附属病院

研修医 2 年宮崎安人

まず初めに、2 か月間大変お世話になりました。

津南病院での地域研修では、大学病院では経験することが難しいような貴重な経験を多くさせていただきました。地域医療の現場で実際に診療へ携わることで、医師として求められる役割や責任について改めて考える機会となり、自分自身の成長を実感できた2 か月間でした。

大学病院では、1 人の患者様に対して複数の医師がチームとなって診療を行い、治療方針も上級医が中心となって決定することが多くありました。一方で、津南病院では自分が主治医として患者様を担当し、診察や検査結果をもとに治療方針を考え、患者様やご家族へのインフォームドコンセントまで経験することが出来ました。先生方のご指導のもとではありましたが、自ら考え、責任を持って診療に携わる経験は非常に貴重であり、医師としての責任の重さを実感しました。

また、初めて外来診療も経験させていただきました。限られた診療時間の中で必要な情報を聴取し、身体診察を行い、検査や治療方針を決定していく外来診療では、問診の重要性や診療を効率よく進める難しさを学びました。さらに、訪問診療にも同行させていただき、患者様の生活環境やご家族の状況を踏まえて診療を行うことの大切さを知ることができました。病気だけでなく、患者様の生活そのものを支えるという地域医療ならではの視点も持てるようになりました。

今回の研修で特に印象に残ったのは、転院搬送に関する経験です。津南病院では、患者様を高次医療機関へ搬送すべきかどうかの判断をする場面や、実際に救急車で転院搬送へ同行する機会を経験させていただきました。この経験を通じて、自施設で実施できる検査・治療とその限界を把握し、適切なタイミングで搬送を判断することの重要性を学びました。また、搬送中の患者様の観察や急変への備え、搬送先との情報共有など、大学病院では経験することの少ない実践的な知識を身につけることができました。

環境が大きく変わり、より主体的に診療へ参加できたことで、自分自身の学習に対する姿勢にも変化がありました。診療に直接関わる機会増えたことで、「患者様のために、より正確な知識を身につけたい」という思いが強くなり、分からないことをその場で調べる習慣が強くなり身についたと感じています。このように主体的に学ぶ姿勢は、今後の研修生活でも大切にしていきたいと考えています。

また、先生方をはじめ、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリスタッフ、事務職員の皆様など、多くの病院スタッフの方々に温かく迎えていただきました。研修開始前は環境が変わることへの不安もありましたが、皆様のご指導と温かいご支援のおかげで、不安なく充

実した研修生活を送ることができました。病院全体で研修医を育てようとしてくださる雰囲気を感じ、大変ありがたかったです。

この2か月間で学んだ知識や経験は、今後医師として成長していく上で大きな糧になると感じています。津南病院で学んだ「患者様1人1人と向き合い、その人にとって最善の医療を考える姿勢」を忘れることなく、自分の理想とする医師像に少しでも近づけるよう、これからも日々鍛錬を積んでまいります。

最後になりますが、ご多忙の中、熱心にご指導くださった先生方をはじめ、病院スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。2か月間、本当にありがとうございました。